



2021年12月期 上期決算説明会

株式会社 堀場製作所

代表取締役社長 足立 正之

2021年8月10日

説明内容

- 2021年12月期 上期 決算概要
- 2021年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～社会課題に貢献するHORIBA
- 株主還元

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

説明内容

- 2021年12月期 上期 決算概要
- 2021年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～社会課題に貢献するHORIBA
- 株主還元

2021年12月期 上期の振り返り

外部環境

- ◆ 脱炭素・カーボンニュートラル対応への気運が高まる
- ◆ 自動車電動化への投資が加速
- ◆ 通信データ需要の増大に伴う半導体生産設備投資の増加
- ◆ ライフサイエンス分野へさらに関心が集まる

内部状況

- ◆ 中国・欧州を中心に成長投資を継続
- ◆ 新技術開発に注力、積極的な製品上市
- ◆ エネルギー・ライフサイエンスなど新分野でのビジネス拡大

2021年12月期 上期連結実績

(単位：億円)

	2020年	2021年		対前年同期	対前回予想
	上期実績	前回予想 (5/13)	上期実績	金額	金額
売上高	849	970	★ 1,013	+163	+43
営業利益	66	105	130	+63	+25
営業利益率	7.9%	10.8%	12.9%	+5.0p	+2.1p
経常利益	67	103	130	+62	+27
親会社株主に帰属 する四半期純利益	48	67	87	+38	+20
USドル (円)	108.23	108.00	107.82	▲0.41	▲0.18
ユーロ (円)	119.31	128.00	129.89	+10.58	+1.89

2021年12月期 連結実績 (セグメント別)

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2020年	2021年	対前年同期	2020年	2021年	対前年同期
	上期実績	上期実績	金額	上期実績	上期実績	金額
自動車	271	249	▲21	▲2	▲11	▲9
環境	86	★100	+13	4	★11	+6
医用	104	128	+24	▲0	3	+4
半導体	274	★400	+126	64	★123	+59
科学	113	★134	+20	1	★4	+3
合計	849	1,013	+163	66	130	+63

2021年12月期 上期連結実績 (B/S、CF)

B/S

- ◆総資産は、拠点整備・現預金の増加などにより
+208億円の3,489億円
- ◆自己資本比率は54.7%

(2020年12月末比)

CF

- ◆利益計上などにより、営業CF：+158億円
 - ◆設備投資などにより、投資CF：▲69億円
 - ◆配当金の支払などにより、財務CF：▲31億円
- フリーCF：+88億円

説明内容

- 2021年12月期 上期 決算概要
- 2021年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～社会課題に貢献するHORIBA
- 株主還元

HORIBAから見た市場環境の想定

全般		新型コロナウイルス感染症の再拡大など、先行きは依然不透明 部材などの調達状況に懸念が高まる
自動車		停滞した開発投資需要の回復を期待 電動化・自動運転技術は開発加速を見込む
環境		環境規制需要は堅調に推移し、大気・水質計測を中心にアジア市場が拡大 石油プロセス市場は不透明感が継続
医用		新型コロナウイルス感染症の収束が地域により不透明であり、 市場環境は見通しにくい
半導体		半導体メーカーの設備投資は高水準で継続 半導体製造プロセスの技術進化により、中期的に計測需要が拡大
科学		企業による研究開発・設備投資の回復を見込む 半導体・ライフサイエンス市場での需要拡大を期待

2021年12月期 業績予想

(単位：億円)

	2020年	2021年		増減	
	実績	前回予想 (5/13)	今回予想 (8/10)	対前年	対 前回予想
売上高	1,870	2,100	★ 2,200	+329	+100
営業利益	196	245	285	+88	+40
営業利益率	10.5%	11.7%	13.0%	+2.5p	+1.3p
経常利益	193	240	280	+86	+40
親会社株主に帰属 する当期純利益	131	160	185	+53	+25
USドル (円)	106.76	108.00	109.00	+2.24	+1.00
ユーロ (円)	121.88	128.00	130.00	+8.12	+2.00

2021年12月期 業績予想 (セグメント別)

(単位：億円)

	売上高					営業利益				
	2020年	2021年		増減		2020年	2021年		増減	
	実績	前回予想 (5/13)	今回予想 (8/10)	対前年	対前回予想	実績	前回予想 (5/13)	今回予想 (8/10)	対前年	対前回予想
自動車	639	640	640	+0	-	24	10	10	▲14	-
環境	183	210	★ 210	+26	-	16	15	15	▲1	-
医用	210	250	250	+39	-	▲4	5	5	+9	-
半導体	569	710	★ 810	+240	+100	140	200	★ 240	+99	+40
科学	268	290	★ 290	+21	-	19	15	15	▲4	-
合計	1,870	2,100	2,200	+329	+100	196	245	285	+88	+40

説明内容

- 2020年12月期 上期 決算概要
- 2021年12月期 上期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～社会課題に貢献するHORIBA
- 株主還元

2021年上期実績

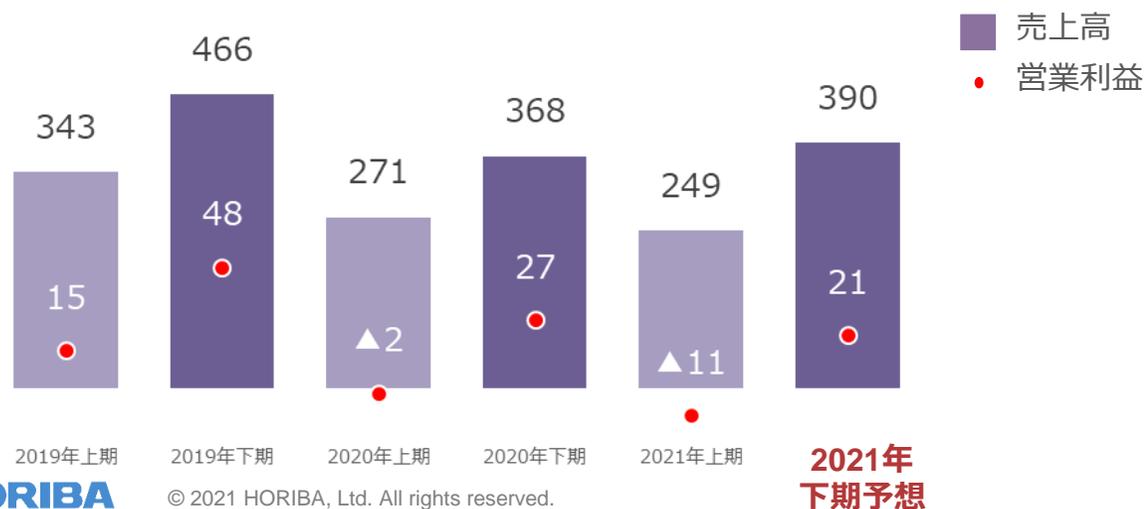
- 前期末の受注残減少により、製品リードタイムとの関係から販売が減少
【排ガス】
パワーユニットの変革期の影響を受け、営業活動は限定的【MCT※1 ECT※2】
出荷・検収時期がスライドし、想定よりも下振れ

2021年通期予想

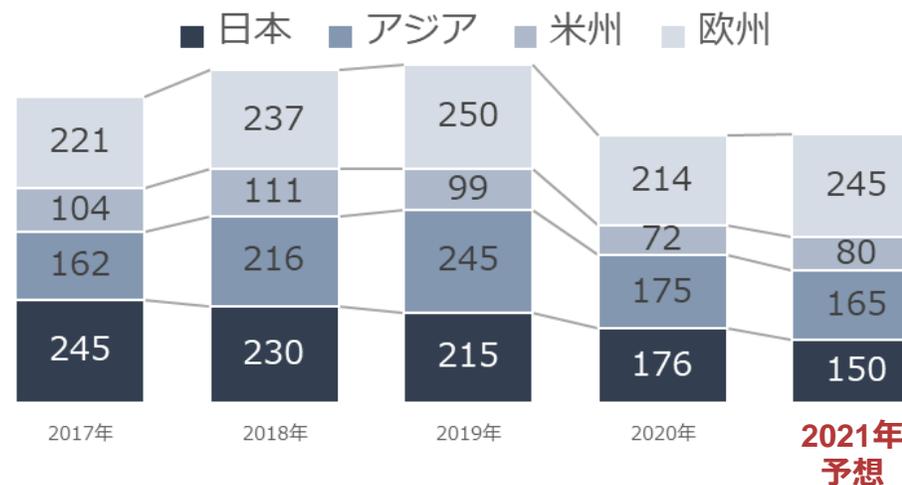
- パワーユニットの変革期における車両開発サポートに注力【排ガス】
排ガス新規制導入を見据えた新製品の投入【MCT・ECT】
電動車両開発に関するビジネスのさらなる拡大をめざす

※1 Mechatronics (自動車計測機器)
※2 Engineering Consultancy & Testing
(自動車開発全般に関するエンジニアリング・試験)

売上高・営業利益推移 (上期/下期)



地域別売上高推移



2021年上期実績/通期予想

(単位：億円)

2021年上期実績

- 環境規制を背景とした公共投資需要は底堅く、電子産業関連の計測需要も堅調

【ガス計測・水質計測】

アジアでの環境規制強化など、規制需要が堅調

【水質計測】

電子産業向け水質計測プロセス機器の需要堅調

2021年通期予想

- 環境保全への関心の高まりを追い風にビジネス拡大を図る【煙道排ガス・大気】

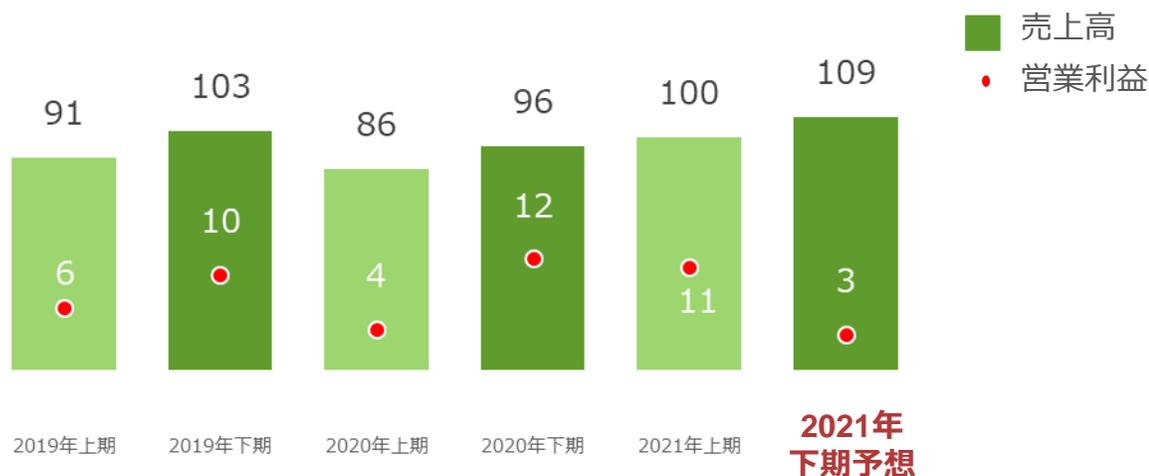
- ・ アジアにおいてさらなる受注獲得

- ・ 新技術ガス分析計の市場投入

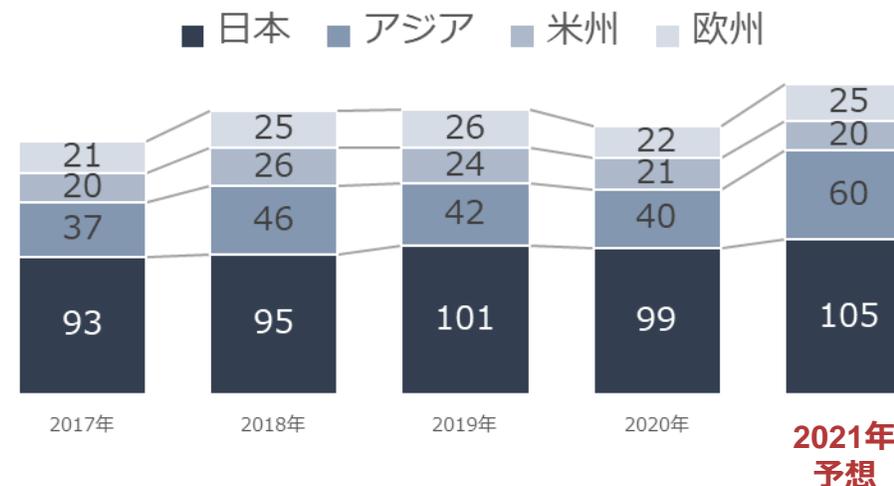
【水質計測】

日本・アジアでの電子産業向け機器の堅調な販売を見込む

売上高・営業利益推移（上期/下期）



地域別売上高推移



2021年上期実績/通期予想

(単位：億円)

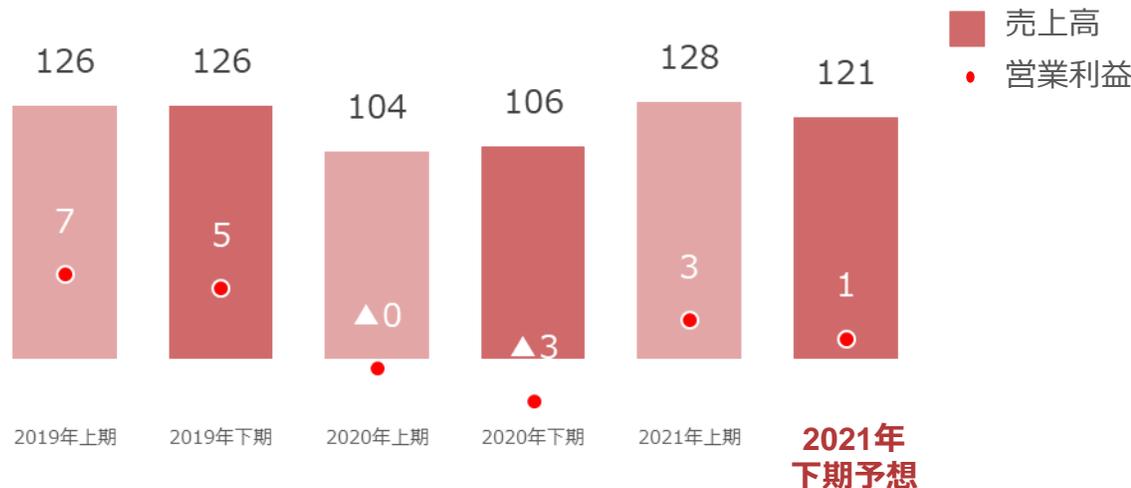
2021年上期実績

- 米州をはじめ各地域で血球計数装置の販売が増加【アジア】
新型コロナウイルス感染症対策の医療政策において、血液検査が奨励され、機器販売および試薬の稼働改善

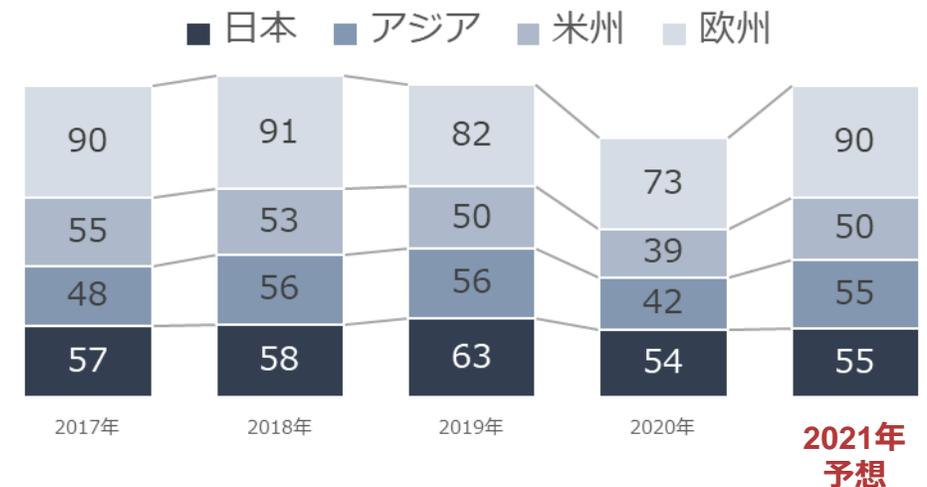
2021年通期予想

- 新型コロナウイルス感染症拡大の収束と、それに伴う病院への通院患者数の本格回復を期待
- シーメンス血球計数装置の供給を欧州で開始予定。中長期的な収益貢献を見込む
- MedTest社買収による米国における生化学ビジネスでの試薬生産機能を強化、中長期でのビジネス拡大をめざす

売上高・営業利益推移（上期/下期）



地域別売上高推移



2021年上期実績/通期予想

(単位：億円)

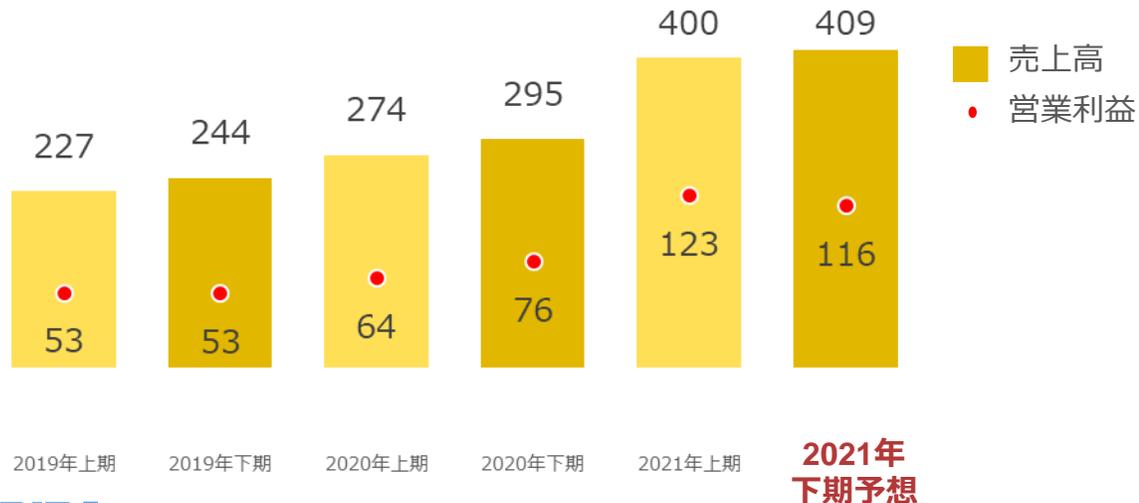
2021年上期実績

- デジタルビジネスの拡大に伴って半導体需要が増加
- 半導体メーカーによる設備投資堅調、半導体製造装置メーカーへの販売増加

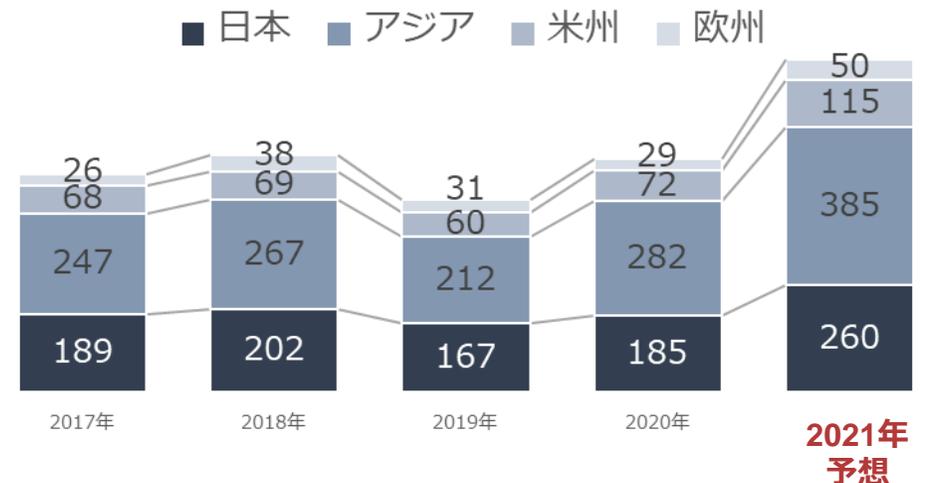
2021年通期予想

- 引き続き、半導体需要の増加に伴い、半導体メーカーの設備投資の増加、半導体製造装置メーカーへの販売増加を想定
- センシング技術活用による、ビジネス領域の拡大をめざす

売上高・営業利益推移（上期/下期）



地域別売上高推移



2021年上期実績/通期予想

(単位：億円)

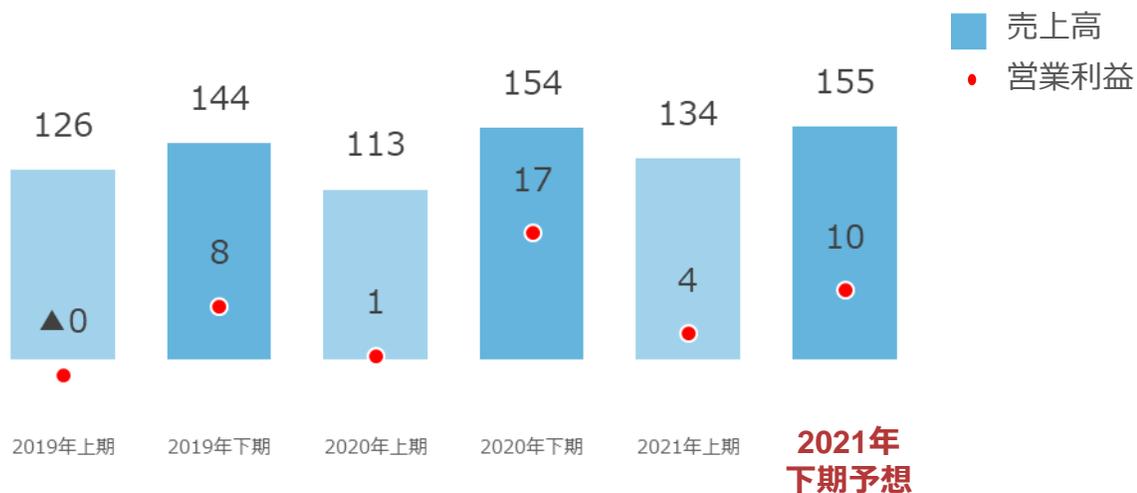
2021年上期実績

- 半導体製造装置メーカー向けなどの光学モジュールの需要堅調、販売増加
- 企業などの研究開発投資の緩やかな回復に伴って、ラマン分光分析装置などの販売復調

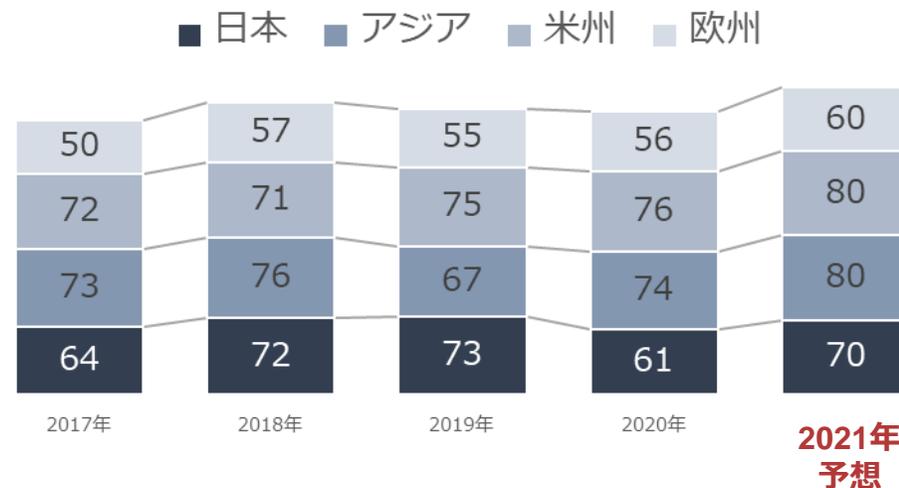
2021年通期予想

- 2020年に低迷した研究開発・設備投資の回復を見込む
- 製薬などライフサイエンス分野でのさらなる需要拡大を期待
- 産業製造プロセスに向けたインライン・ソリューション・ビジネスの拡大を中長期的にめざす

売上高・営業利益推移（上期/下期）



地域別売上高推移



説明内容

- 2021年12月期 上期 決算概要
- 2021年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- **トピックス～社会課題に貢献するHORIBA**
- 株主還元

社会課題に貢献するHORIBA

クロスセグメントで様々な社会課題に対応

1. Market Oriented Business

Energy & Environment

Bio & Healthcare

Materials & Semiconductor

3フィールド

メガトレンドをリードする3フィールドに、コア技術をフル活用した分析・計測ソリューションを展開

2. Solution Provider Beyond Life Cycle Management

製品導入からリプレイスまで、全方位でお客様のコアビジネスをサポート

3. HORIBA Core Values “The Next Stage of Super Dream Team”

中長期経営計画”MLMAP2023”

エネルギー分野での事業推進

ドイツの電源装置メーカーBeXema社を買収

- ✓ BeXema社は燃料電池・バッテリーの試験設備に使用される電源と電子負荷装置を供給

BeXema

- ✓ HORIBA内で燃料電池、バッテリー、水電解を中心とする評価・計測ソリューション技術を揃えられる体制を整備

HORIBA

パワーエレクトロニクス技術を獲得



ホリバ・
フューエルコン社は、
BeXema社より
電源装置の供給を
以前より受ける

CELL0※のバッテリー試験室に
設置された、BeXema社の
充放電装置・コンバータ・
エミュレータ設置

※CELL0：電動車両用バッテリーや燃料電池を評価、解析する試験室。
びわこ工場「HORIBA BIWAKO E-HARBOR」に設置

会社名： BeXema GmbH

設立： 2014年

売上高： 約2.5億円（2020年）

従業員： 18名

買収契約日： 2021年7月2日



ホリバ・フューエルコン社

BeXema社

持続可能なエネルギー社会の実現をリード

エネルギー分野での新しい技術とビジネスの創出をめざす

HORIBA Institute for Mobility and Connectivity²始動



- ✓ HORIBAがカリフォルニア大学アーバイン校に設立支援した研究所が7月開設
- ✓ 公的機関からの標準化プロジェクトを受託

HORIBA Institute for Mobility and Connectivity² (HIMaC²)



- 電気化学、再生可能エネルギー、エネルギー貯蔵、エネルギーグリッドなどの研究を実施
- 電力とモビリティのコネクティビティを実現

都市エネルギーネットワークと次世代モビリティを対象とするイノベーションを促進

水素エネルギー社会への貢献

水電解による水素発生装置の需要が拡大



- ✓ ホリバ・フューエルコン社は、水素製造における水電解セルの性能効率・評価が可能な装置を提供、需要が増加

Evaluator EC/ES

水の温度や流量制御し、5000kW までの水電解セルの性能・効率評価を行う

「はかる」技術で水素社会の早期構築に貢献

- ✓ 水素バリューチェーン推進協議会に3月より参画



【水素バリューチェーン推進協議会】
「サプライチェーン全体を俯瞰し、業界横断的かつオープンな組織として、社会実装プロジェクトの実現を通じ、早期に水素社会を構築する」ことを目的に2020年12月7日設立

車両試験の効率化に寄与

自動車開発における計測のトータルソリューションを提供

VULCAN EVO販売開始

- ✓ シャシダイナモメーター「VULCAN EVO」の国内販売開始
 - 容易なメンテナンスで、ダウンタイムを激減
 - 内燃機関車、EV、FCV、PHEVなどの国際基準に準拠した車両性能・排ガス評価試験が可能



【国際基準：WLTP】

- Worldwide harmonized Light vehicles Test Procedure：乗用車等の国際調和燃費・排ガス試験方法
- 国内では2020年4月にWLTPに基づく燃料電池自動車や電気自動車の燃費・電費測定が義務化

STARS SOAK+を本格展開

- ✓ 排ガス・燃費試験前の車両状態、ソーク室温度を計測
 - ヒューマンエラー防止、トレーサビリティの担保などにより試験の効率を向上

ソーク中の車両の状態は
タブレット端末で一元管理可能



【ソーク室】

- 一定の温度に保たれた部屋
- 試験データを正確に計測するため、事前に試験車両を入庫させる

自動車関連メーカーにかかる試験負荷の軽減に貢献

新技術「IRLAM」開発

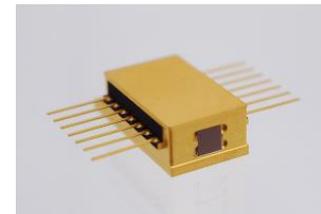
最先端コア技術で新たな価値を提供

IRLAM - Infrared Laser Absorption Modulation : 赤外レーザー吸収変調法

- ✓ データサイエンスの概念から着想を得た、世界初*1のガス濃度演算アルゴリズム
- ✓ ヘリオットセル（測定するガスが入った容器）の小型化・長光路化で高感度・高速な計測が可能
- ✓ 自社製造の量子カスケードレーザー（QCL*2）で幅広いガス計測のニーズに対応

*1：当社調べ／*2：Quantum Cascade Laser

自社開発レーザー



IRLAM技術採用新製品

プロセス用レーザーガス分析計 「PLGA-1000」

- ✓ 石油化学製品製造プロセスにおける原料ガスと不純物ガスを高感度に高速連続計測
- ✓ 生産性最適化



エンジン排ガス測定装置への搭載 「OBS-ONE-XL」 「XLA-13H」 「XLA-11」

- ✓ 計測困難だったガス種が高い精度で計測可能に

車載型排ガス測定装置に採用
OBS-ONE-XL



MEXA-ONEへの搭載
<計測可能ガス種>
XLA-13H：ホルムアルデヒド
XLA-11：一酸化二窒素



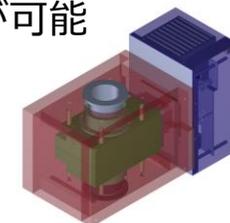
Built-in!



半導体プロセスモニター (開発中)

- ✓ 半導体製造プロセスにおけるリアルタイムモニタリングが可能

半導体ガス濃度モニターへの汎用を図る
(イメージ図)



水素などの次世代エネルギー開発、工業プロセス監視や環境規制強化などに貢献

半導体製造に高付加価値ソリューションを提供

半導体製造に貢献する多彩なアプリケーション

異物検査装置

Optical Smart Sensing - Metrology

半導体製造プロセス

HORIBA製品での対応

レティクル/マスク
製造プロセス

ブランクマスク検査

3面検査
(パターン面・ガラス面・ペリクル面)

露光/ウェハー
プロセス

ペリクル検査

各種マスクサイズ/基板検査

代表製品



PR-PD3EP

EUV工程で使用されるペリクル上の異物を高精度に検出

需要増加を見据え、生産ラインを強化

新型 溶存酸素計



HD-960LR

半導体製造プロセスにおける薬液中の溶存酸素を高精度に連続モニタリング

対応薬液種を拡大、歩留まり向上に貢献

遠心式ナノ粒子解析装置



Partica Centrifuge

粒子の沈降速度から粒子の大きさをはかる

半導体製造の平坦化（CMP）プロセスで、研磨剤の均一性向上に貢献

ライフサイエンス分野でのビジネス拡大

研究開発から生産プロセスまで、アプリケーション拡大

島津製作所との協働：LC-Ramanシステム

混合試料から計測対象を抽出する「分ける」技術

分離・捕集



高速液体クロマトグラフ (LC)

制御・解析・データ管理



専用ソフトウェア LiChRa™

分子構造の違いを判別する「見える」技術

定性分析



ラマン分光装置

島津製作所のLCと堀場製作所のラマンに専用ソフトウェア「LiChRa」を組み合わせた複合システム

リクラ

微生物迅速検査装置 Rapica

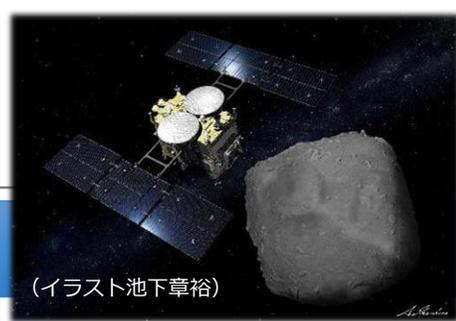
Coming soon!



- ✓ 微生物の有無を高感度ATP法※によって迅速検出
- ✓ 自動での試薬導入など自動化プロトコル
- ✓ データのトレンド管理も可能
- 原材料入荷・製品出荷などの
- 検査時間短縮
- 環境・用水管理
- 汚染発生時調査及び製造再開

※生物の細胞内に存在するATPを酵素などと組み合わせて発光させ、その発光量を測定

はやぶさ2 – 試料分析プロジェクトへの参画



HORIBAのコア技術を未来へ



- ✓ 小惑星リュウグウの試料に含まれる元素を非破壊、非接触で分析
- ✓ 高度な分析・計測装置と技術者の高いスキルが求められる
- ✓ 高精度な微量分析を得意とする堀場テクノサービスが参画

蛍光X線分析装置で試料を分析



高度なサンプルハンドリングを可能にする、リュウグウの試料専用の容器（セル）も開発

Analytical Solution Plazaの開設 —サービス事業の拡大—



堀場テクノサービス
新社屋内に開設



Analytical Solution Plaza

- ✓ 新しい分析の交流の「場」
- ✓ 分析技術者による受託分析、共同研究等を通して分析技術を提供

JAXAより12月に分析結果発表予定。乞うご期待！

説明内容

- 2021年12月期 上期 決算概要
- 2021年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～社会課題に貢献するHORIBA
- 株主還元

株主還元政策

基本的な考え方

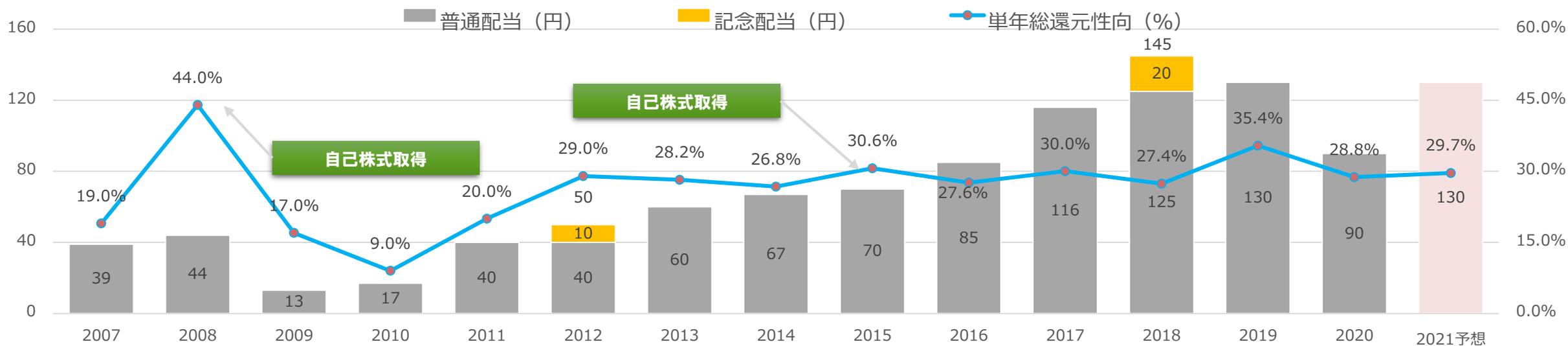
- 配当金 + 自己株式取得 = 連結純利益 × 30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保（設備投資・M&Aなど）

配当金及び自己株式の取得

- 2019年実績 130円[中間 50円、期末 80円]
- 2020年実績 90円[中間 30円、期末 60円]
- 2021年予想 130円[中間 50円、期末 80円]

前回予想から
1株あたり20円上方修正
(中間配当金は10円増額)

配当推移





2021年12月期上期 決算説明会 ～決算詳細説明～

株式会社 堀場製作所

経営企画室 室長 羽部 哲弘

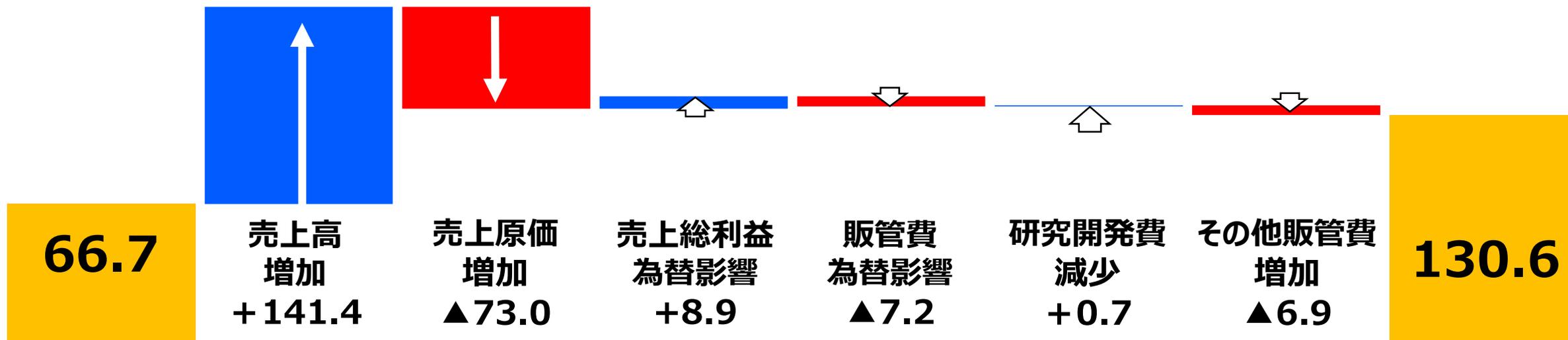
2021年8月10日

営業利益分析

(単位：億円)

2020年
1～6月実績

2021年
1～6月実績



為替影響を除く

粗利の増加 +68.3

為替影響 +1.6

経費の増加 ▲6.1

営業利益増加 +63.9

営業外損益

(単位：億円)

	2021年上期
売上高	1,013.1
営業利益	130.6
経常利益	130.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	87.4

	2021年上期	2020年上期
営業利益	130.6	66.7
金融収支	▲ 0.2	0.9
助成金収入	0.5	1.7
為替差損益	▲ 1.0	▲ 2.4
その他	0.5	0.8
営業外収支戻	▲ 0.2	0.9
経常利益	130.4	67.7

特別損益・法人税等

(単位：億円)

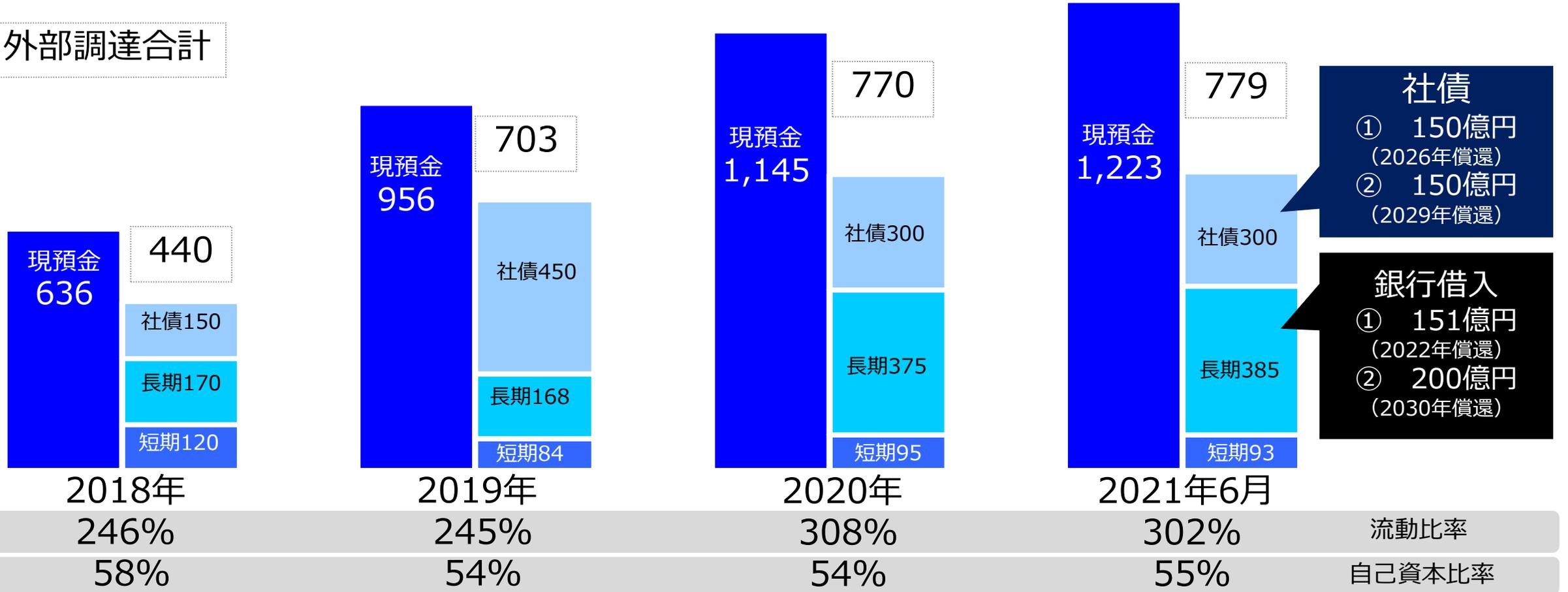
	2021年上期
売上高	1,013.1
営業利益	130.6
経常利益	130.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	87.4

	2021年上期	2020年上期
経常利益	130.4	67.7
投資有価証券売却益	0.0	5.5
その他	▲ 0.4	▲ 0.1
特別損益戻	▲ 0.3	5.4
税金等調整前四半期純利益	130.1	73.1
法人税等など	▲ 42.6	▲ 24.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	87.4	48.6

資金の状況

(連結ベース、各期末)
(単位：億円)

外部調達合計



・直近の格付け：R&I 「A」 (2020年9月)、JCR 「A+」 (2020年8月)

2021年想定為替レート

	2020年		2021年						
	上期	通期	前回予想 (5/13)	実績			下期予想	通期予想	VS 前年
				1Q	2Q	上期			
USドル	108.23	106.76	108	106.09	109.55	107.82	110.18	109	+2.24
ユーロ	119.31	121.88	128	127.81	131.97	129.89	130.11	130	+8.12

足元の為替動向を鑑み、為替想定レートを変更

1ドル 108円 → 109円

1ユーロ 128円 → 130円

為替の影響額

(単位：億円)

2021年上期 為替影響額（前年同期比）

売上高の増加	+ 21.9
売上原価の増加（逆符号）	▲ 13.0
販売費及び一般管理費の増加（逆符号）	▲ 7.2
営業利益への影響	+ 1.6

(円)	2020年上期	2021年上期	レート差
USドル	108.23	107.82	▲ 0.41
ユーロ	119.31	129.89	+ 10.58

為替感応度（2021年通期予想） 1円円高による売上高/営業利益の影響額

	売上高	営業利益
USドル	▲ 5.6	▲ 2.6
ユーロ	▲ 3.1	▲ 0.0

(円)	2021年通期予想
USドル	109.00
ユーロ	130.00

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	2020年	2021年		2021年
	実績	前回予想 (5/13)	今回予想 (8/10)	対 前回予想 1-6月実績
設備投資額	151	165	165	- 62
減価償却費*	96	105	105	- 50
研究開発費	155	170	170	- 79
(対売上高比)	8.3%	8.1%	7.7%	▲0.4p 7.9%

※無形固定資産の償却費含む

2021年 トピックス

- 有形固定資産：
 継続：ホリバ・フューエルコン社生産設備増強、中国拠点強化
 新規：各拠点生産設備強化など

ご参考

[参考]2020年実績/2021年予想 【半期ごと】

(単位：億円)

	2020年実績			2021年予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	849	1,021	1,870	1,013	1,186	2,200
自動車	271	368	639	249	390	640
環境	86	96	183	100	109	210
医用	104	106	210	128	121	250
半導体	274	295	569	400	409	810
科学	113	154	268	134	155	290
営業利益	66	130	196	130	154	285
自動車	▲ 2	27	24	▲ 11	21	10
環境	4	12	16	11	3	15
医用	▲ 0	▲ 3	▲ 4	3	1	5
半導体	64	76	140	123	116	240
科学	1	17	19	4	10	15
経常利益	67	126	193	130	149	280
親会社株主に帰属 する当期純利益	48	83	131	87	97	185

Omoshiro-okashiku
Joy and Fun



Terima kasih
谢谢
Gracias
Σας ευχαριστώ πάρα πολύ
धन्यवाद
شُكْرًا
Danke
Tack ska du ha
Grazie
THANK YOU
Obbrigado
Большое спасибо
Cảm ơn
Merci
감사합니다
ขอบคุณครับ
ありがとうございました
Dziękuję